2021年 2月 1日　No.198　　発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第198号
郵政産業ユニオン PIWU TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

今こそ労働条件を改善せよ

コロナ禍の今こそ改善が求められている

昨年10月から取り組まれた春闘アンケートの中間報告が出されました。非正規社員の生活実感は、「苦しい」と答えた方が約6割と依然として高い状態が続いています。昨年は最低賃金の引き上げが全国で無い、又は微増だった事も影響し、年間収入の変化では「増えた」が6．8ポイント減少、「減った」が5．6ポイント増加となりました。

賃上げが望まれている

生活改善を望む声にコロナ禍が関係ない事は、引き上げ要求額にも現れています。時給100円以上の引き上げを求める声は全体の7割を超えています。月給制契約社員も加重平均で2万3000円の引き上げが求められています。

最低生計費試算調査の全国で最賃1500円が必要との結果からも、非正規労働者の生活改善のために、コロナ禍だからこそ大幅賃上げが求められています。

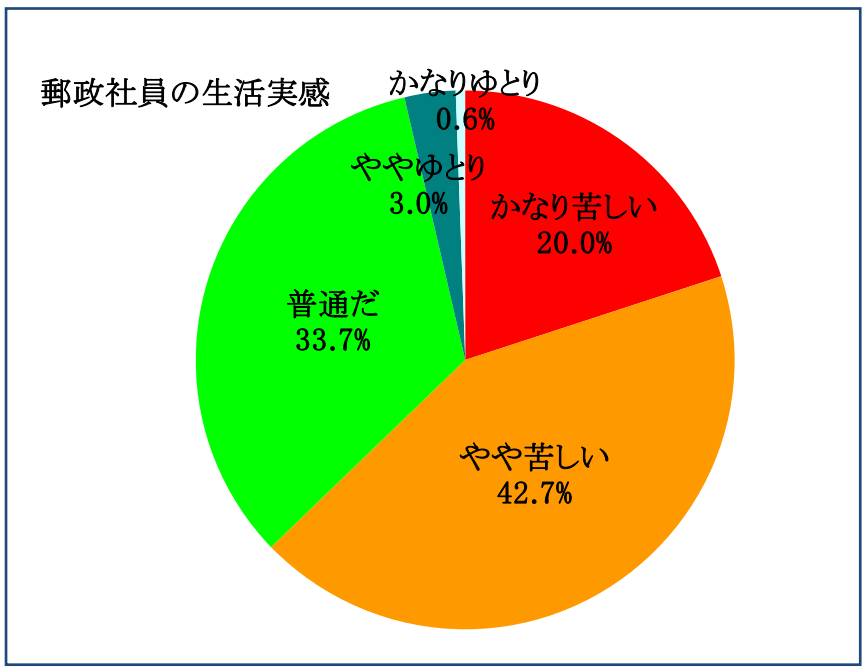
社員は皆苦しんでいる

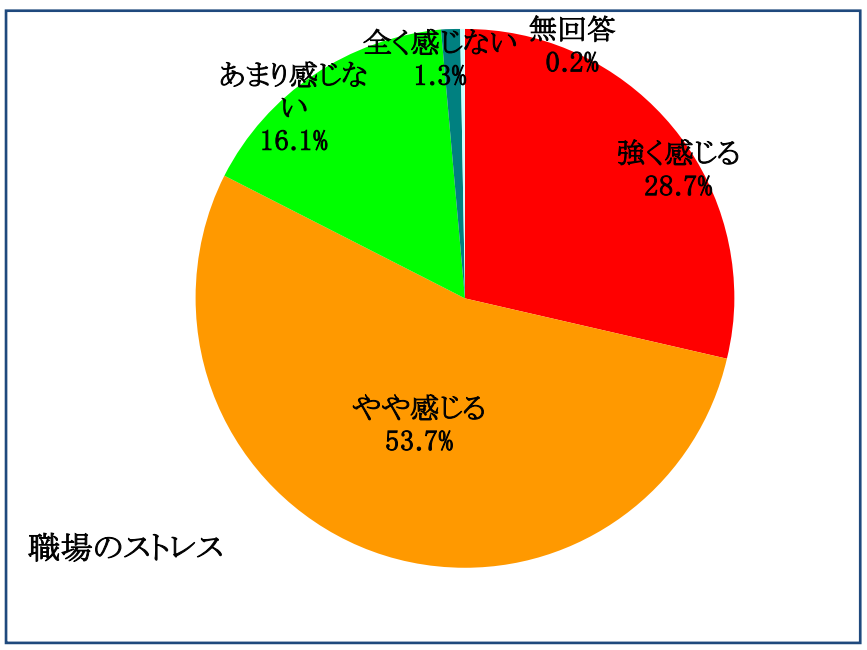
正社員の生活実態を見ても、「苦しい」がこちらも約6割と高く、賃上げゼロが大きく響いています。コロナ禍を理由にした社員への負担増を止めさせ、社会に貢献する企業として、コロナ禍だからこそ賃上げを求めていきます。

要員・賃金は労働者の根源的要件

職場の不満・不安では、正規・非正規共に「要員不足」が6年連続1位となっていて、次いで「賃金が安い」が続いています。慢性的な不満・不安が一向に改善されていません。

会社はコストコントロールによる労務管理を掲げていますが、それによる社員への負担増を許さず、誰もが安心して働ける職場を目指す運動を進めていきます。





んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか